

パームビーチ郡航空宇宙関連企業視察訪問

6月7日、パームビーチ郡の航空宇宙関連企業を視察訪問したところ、訪問先企業による説明概要以下のとおり。

当方からは、8月のユタ小型衛星カンファレンスにおける日本ブースの出展、9月の東京における日・フロリダ航空宇宙産業ビジネスセミナー・商談会開催計画、10月の東京における国際航空宇宙展開催について紹介し、日本の航空宇宙産業との今後の連携を促した。

1 Pratt & Whitney 社

コネチカットに本社を置く弊社は1958年にウェストパームビーチ市施設を開設した。6,800エーカーの同施設には試験スタンドが複数所在し、製造敷地面積は625千平方フィートある。同社ジェット（ロケット）エンジン試験の中心的な施設である。

2012年にシステム・エンジン・バリデーション（SE-V）を設立し、8セルを所有している。補助動力装置（APU）開発の基盤とする。ギヤード・ターボファン・エンジン技術を伴う PurePower エンジンは、燃料燃焼、環境排出物、エンジン騒音、運営コストの削減の面で秀でている。PurePower エンジンは三菱リージョナルジェット（MRJ）開発に際して要求された高性能を達成するための努力の結果、生まれた。三菱リージョナルジェット（MRJ）の他にエアバス、ボンバルディア、エンブラエル等も顧客である。日本航空機エンジン協会（JAEC）や MTU アエロエンジンズ（ドイツの航空用エンジン製造会社）とパートナーシップを有する。

新しい製造施設として LEED Gold（環境性能評価ゴールド認証）の施設を有する。新しい F135 及び Pure Power エンジンの製造はここで行っている。年間200から250個のエンジンを製造している。WPB エンジンセンターでは、PW パワーシステムズ（PWRS）を提供している。

2 AEROJET ROCKETDYNE 社

弊社はカリフォルニアに本社を置く。航空宇宙、防衛、不動産を専門としている。主なビジネスは、①先進宇宙・打ち上げ、②防衛先進プログラム、③ミサイル防衛及び戦略システム、④宇宙打ち上げシステム、⑤宇宙システム⑥戦術システム、⑦特殊金属の7カテゴリーに分けられる。

2015年の年収は17億ドル。エンドユーザーの25%は NASA、20%は米空軍、その他、陸海軍、ミサイル防衛庁ロッキード・マーティン社、レイセオン社等である。全米14州で5千人以上を雇用している。海外拠点は日、露、韓、豪、加、欧州等複数に所在。堅調な受注残と歳入の見通しがある。

三菱重工業との共同開発プログラムは長い歴史がある。1970年代から約40年間、

JAXAプログラムや民間の協力取組を行っている。1970年代の弊社による技術協力（TAXAプログラム）を経てDelta IVロケットには三菱重工の部品が多数使われている。現在、三菱重工と水素エンジンの共同開発（MB-XX）を進めている他、チャンバー製造技術開発（JAXAプログラム）でも協力している。現在JAXAと三菱重工業が開発中のLE9エンジンの部品（MCC）を受注している。

3 Parametric Solutions 社

1994年に営業を開始した弊社は機械設計や分析、試運転等、OEMメーカーのプロジェクトにあわせ、専門性を提供している。自動車業界の「Tier 1」と同様の立場にある。タービンからコンプレッサー、モジュール等、各種機械を製造している。社内プロセスに時間がかかる大手企業と異なり、中小企業のために顧客からの注文に即座に応じられる。年間の歳入は4千万ドル。歳入の伸びが弊社の成長を語っている。2013年にはスコット知事が弊社を訪問した。フロリダ州以外にアトランタ、ソルトレークシティ、イーストハートフォードで支部を有する。

B-777のエンジンは弊社が生産し、GEを通じてボーイング社に供与している。その他、ボンバルディア、ロールスロイスとも取引関係がある。

日本関連では、東芝、三菱、IHI等と協力関係にある。これまで日本の中小企業との関係はないが、紹介してくれれば協力の可能性はある。中小企業を支援してOEMメーカーに育てることもやっている。（当方からユタ小型衛星カンファレンスへの日本ブースの出展、日本で開催予定の航空宇宙ビジネスセミナー及び国際航空宇宙展について紹介した）。日本の中小企業とも協力する用意があり、9月の航空宇宙ビジネスセミナーへの参加に関心がある。